



もっと元気な 兵庫ふるさと

交流と魅力発信で

目次

1-3面

- 元気コラム
- 県政特集



4-5面

- 元気コラム(続き)

- 食彩ひょうご
ブルーベリー



- みんなで体験! ひょうごの魅力
県立淡路島公園で
夏の思い出づくり(淡路市)



- 文化の風

- 今年の夏も美術館・博物館の
観覧料半額などの特典あり!

- 五つ星ひょうご

6-7面

- 防災情報ピックアップ
- 県政だより ●プレゼントクイズ
- くらしのホットライン
- ひょうご情報スクランブル

8面 県民局版

県民の心のよりどころとなるふるさと兵庫が、いつまでも活気あふれる社会であるために。地域再生大作戦をはじめとする多彩な取り組みを各地で展開しています。



おさごはんの会
(養父市小佐地区)

小佐地区ならではのオリジナル料理をみんなで作って味わい、交流を深めています

2・3面に続きます

元気コラム

兵庫県知事 井戸敏三

新しい任期の始まりにあたって

8月1日から新しい任期が始まりました。第51代知事としての任期のスタートです。

先の選挙で引き続き県政の推進役として信任いただきました。

しかも170万人近い県民からのご支持です。県民の皆様の期待に対して、責任の重さに身が引き締まり、決意を新たにしています。



阪神・淡路大震災からの復旧復興をはじめ、幾度の困難を越えてきた兵庫。北は日本海、瀬戸内海、そして南は太平洋に臨み、日本の縮図と言われ、日本の社会の直面する課題に真っ先に対応を迫られてきた兵庫であるからこそ、日本の再生のためのモデル、兵庫モデルを提唱していくとの気概を持って、将来の課題や問題に真正面から臆することなく挑戦していく決意です。

私たちが待ち受ける将来の課題や危機は明白です。南海トラフ巨大地震や風水害等への備え、少子化対策、超高齢社会への対応、健康医療の確保、地域格差対策、就業機会の確保、地域経済の再生など、対応すべき課題や危機に対して、事前に解決への道筋を定め、県民の皆様にご理解いただきながら、一步一步着実に、計画的に取り組めます。

将来の課題を見据え、事前対策を計画的に進める、「未来に備える」ことが必要です。そのために、兵庫の多様性を生かす「地方からの発信と自立」、県民の知恵と力を結集する「参画と協働の推進」、そして「変化への柔軟、迅速な対応」を基本姿勢に、「創造と共生の舞台・兵庫」実現への道筋を明確にしていきます。

4面に続きます

地域を活性化し自立を促進する

地域再生大作戦を展開

多自然地域の集落は、地域の人々の生活の場であるとともに、その美しい自然環境は都市住民の安らぎの場でもあります。また、県民の「食」を提供する大きな役割も果たしています。しかし、これらの地域の中には、人口減少や高齢化の進展で、空き家や耕作放棄地が増加し、獣害の拡大などさまざまな問題が生じている所もあります。

空き家の活用支援や大学生と連携した地域づくりなど、地域力の向上を進めます。また、都市部で多自然地域の特産品を販売するアンテナショップを運営するなど、これまで進めてきた交流をベースに、さらなる自立に向けた取り組みを推進していきます。

◎県地域再生課

☎078(362)3560
F078(362)3950

“ひょうごの元気ムラ”フェイスブックを開設

多自然地域の魅力に加え、地域再生大作戦の具体的な取り組みを紹介しています。

ひょうごの元気ムラ 検索

空き家の改修を助成します

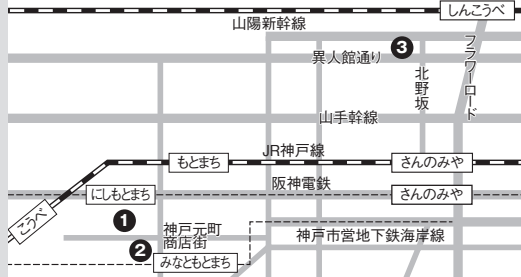
多自然地域等で既に空き家となっている木造一戸建て住宅を対象に、台所や浴室など居住に向けた水回り設備等の改修工事費の一部を助成します。

専9月30日⑥までに所定の申込書（ホームページからダウンロード可能）などを提出
◎県住宅政策課 ☎078(362)3583 F078(362)9458

さとの空き家活用支援事業 検索

地域の魅力発信！ アンテナショップに行こう！

地元の特産品などを都市部で販売するアンテナショップ。都市と地域の交流拠点にもなっています。各店では、フェイスブックなどで最新のイベント情報などを紹介しています。



① ひょうごイナカフェ・元町週末マルシェ

県産食材を使った料理を味わえるカフェコーナーのほか、県内各地から100品以上を取り寄せた特産品販売コーナーも。さらに、毎週土曜には元町週末マルシェとして、県内の小規模集落等で生産された旬の生鮮野菜や加工品などを店頭販売。集落のイベントの案内、祭りの参加者や農村ボランティアの募集など多彩な地域情報も発信しています。



元町週末マルシェ 検索

② 北播磨 おいしんぼ館

新鮮野菜をはじめ、地元の農産加工グループが作る巻かずしやみそなどの農産加工品、地元食材を使ったスイーツなど、北播磨の食が勢ぞろい。2階では観光情報に加え、地場産品や特産品も紹介しています。



北播磨おいしんぼ館 検索

③ 西播磨ふるさと特産館「好きやde西播磨」

揖保川トマトなど毎朝産地から直送される新鮮な季節野菜をはじめ、西播磨を代表する地場産品やもち大豆みそなどの農林水産加工品を販売。また、今月からは、西播磨の地酒も取り扱いいます。観光情報など地域の魅力を紹介するコーナーも。



西播磨ふるさと特産館 検索

おさこはんの会

郷土料理で交流を深め オリジナルの特産品も開発

妙見山の谷筋沿いに広がる世帯数約250の養父市小佐地区は、平成22年に地域再生大作戦のモデル地域に選ばれ、25年からは、これまでの取り組みのステップアップを支援する大作戦の新制度も活用しています。

同地区の自治協議会では、名草神社や特産品など地域資源を生かした活性化に取り組んでいます。

23年には、地域づくりに



地元産の野菜を練り込んだかき餅「小佐の実りもち」は養父市内の道の駅などで販売しています



地域に古くから伝わる郷土料理を、作りやすくアレンジしたメニューも

ほどの集まりが3年目を迎える今では150人近くになることも。参加費300円を徴収することで自立的な活動も可能になりました。

「商品化は農家や地区の人たちのやりがいになっていきます。小佐をもっともっと元気にしたいですね」と森本さん。現在は赤米を使った新商品を開発中です。

沼島の魅力発信拠点 「吉基～よしじん～」

淡路島から約4.6°。南に浮かぶ沼島に、空き家を改修した総合観光案内所「吉基～よしじん～」が6月にオープン。土産物店や無料の休憩スペースを備え、島の周囲を漁船で巡る沼島おのころクルーズ（有料）も受け付けています。

▶営業日時＝土曜、日曜、祝休日9時30分～16時
▶南あわじ市沼島2400 ☎F0799(57)0777



フェイスブックで最新のイベント情報などを発信

沼島 よしじん 検索

ふるさとを愛する心を育てる

ふるさと体験で 次世代を育成

住んでいる所への愛着やふるさとの人々との絆は、思いやりや命を大切にする心の醸成につながる。地域づくりの原動力になります。



地元の川に親しむ活動を展開中の揖保川ふるさと発見隊（ひょうごっ子・ふるさと塾事業）

塾事業もスタート。身近な地域での体験活動などに子どもたちが参加し、豊かな自然に触れたり、世代間や地域間の交流を進めたりすることで、ふるさとを大切に思う心を養成していきます。

◎県協働推進室

☎078(362)3136
F078(366)0167

ふるさと・ひょうごへの 想いを育てる

勉学や就職のために外に出ていても、ふるさとの魅力が地域域の活力維持につながります。



すごいすと 検索

耳になじんだデカンショ節を継承し ふるさと貢献に生かす

高校生ふるさと貢献活動事業―県立篠山鳳鳴高校



7月に行われた第3回講習会では、三味線、太鼓、篠笛、尺八、唄の各パートに分かれ、約1時間半みっちり稽古

ており、そのためにはまず地元を知ることが不可欠との考えから、市民が誇る伝統民謡「デカンショ節」に着目。募金運動や福祉施設の訪問など地域貢献活動をするインターアクト部が中

心となつて5月にデカンショお囃子隊を結成し、部員に有志を加えた21人が演奏技術習得に励んでいます。

篠笛の指導に当たる山田良一さん。ゆくゆくは後継者にと、生徒たちの頑張りに期待を寄せています。

生徒の一人は、「毎年のように行っている祭りで耳になじんだ民謡をみんなできるとはうれしい」と笑顔を見せます。今後も定期的に講習を重ね、歴代の先輩たちが集う11月の同窓会で初披露を予定。その後は児童館で演奏するなどデカンショ節の裾野拡大に努めています。

はばタンQ&A

県民生活課編

子どもたちにも兵庫県のことをもっと知ってもらいたいから、ぼくが県のお仕事について職員にインタビューするよ。親子で一緒に読んでね！



兵庫県マスコット「はばタン」

Q1 ふるさと意識ってなあに？

子どもの頃に友達と勉強したり遊んだり、家族や近所の人に見守られて成長した経験は、その地域の自然やまち並みとともに、大切なふるさとの思い出になるんだ。このふるさとを大切に思う気持ちがふるさと意識なんだ。だから、都市部でも農山村でもみんなにふるさとはあるんだよ。

Q2 ふるさと意識を持つと どんな良いことがあるの？

ふるさとを大切に思う気持ちは、人々を思いやる気持ちにつながり、懐かしいふるさとの思い出は将来、大きな心の支えとなって自分自身への自信と大きな底力につながるんだ。もし、進学や就職などで外に出て、ふるさとに愛着があればいつかまた戻ってくれると思うんだ。だから県では、県民の皆さんに今以上にふるさと意識を持ってもらえるよう、取り組みを進めているところだよ。

Q3 ぼくたちはどうすればいいの？

まずは、毎日しっかり勉強して、いっぱい遊んで友達と仲良くすることが大事だよ。それから、地域の自然に触れたり、周りの大人から地域の歴史や文化、特産品などいろいろな話を聞いたり、お祭りや地域の行事に積極的に参加してね。そうやって、住んでいる地域のことをいっぱい知って、好きなところや思い出をどんどん増やしていってくれるとうれしいな。

広告

24.5cm×6.5cm

